

研究機関： 東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻 地球生命圏科学講座

受入研究者： 浦辺徹郎 (砂村倫成については別記)

研究分野： 熱水実験、海底熱水活動、熱水性鉱床、海底資源

研究概要

海底熱水活動およびマンガングラストについて化学地質学的研究を行っている。また熱水環境を再現するためのセイフリード型熱水合成実験設備があり、無機的メタン生成の実験など実験を行っている。昨年5名のM2が卒業し、大河関係の戦力が大幅に低下している。現在、大学院生は4名いるが、海のことをやっているのは1人(マンガングラスト)。

分析手法

1. 熱水生成物の記載に必要なさまざまな装置 (岩石(偏光)顕微鏡、反射顕微鏡、X線粉末解析、電顕、EPMA, ICP など) はそろっているが、特記すべきものは無し。
2. 鈴木研究室と同様の実験装置があるので、使うことができる。ただ、時間がかかるので、都内の人でなければ実験は難しいかも知れない。
3. 当研究室にはいろいろな専門家がそろっているため、結果の解釈やほかの熱水系との比較など、あれこれ議論するのに向いている。

コラボレーションの提案例

1. 当研究室ではメタンハイドレート研究の松本良教授、大河計画の砂村倫成・井尻暁・柳川勝紀博士らと一緒にゼミをやっている。そこで研究の途中経過を発表し、皆で議論するのが良いのではないか? そのような申し出は歓迎する。

受入側の研究に関する文献、書籍

- 浦辺徹郎・沖野郷子・砂村倫成・石橋純一郎・高井研・鈴木勝彦(2009) 海底下の大河— 海洋地殻内熱水循環の多様性と生物地球化学プロセス、地学雑誌、118(6), 1027-1036.
- 浦辺徹郎・飯笹幸吉・石橋純一郎(2009) Modern Analogy としての海底熱水鉱床、資源地質、59(1), 43-72
- Marumo, K., T.Urabe, A.Goto, Y.Takano, and M.Nakaseama (2008) Mineralogy and isotope geochemistry of active submarine hydrothermal field at Suiyo seamount, Izu-Bonin Arc, West Pacific Ocean, Resource Geol., 58, 220-248

住所： 113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

連絡先： 03-5841-4542(浦辺) 03-5841-2534(藤田) 03-5841-4520(砂村)

研究者メールアドレス：urabe@eps.s.u-tokyo.ac.jp

研究室 HP アドレス：大河のホームページ参照